

(第3種郵便物認可)

シソで宍粟PR

「ひそかのシソ」で宍粟市をPRしようと、市内の九つの和洋菓子店が、シソを使ったケーキやまんじゅうなど14種類のスイーツを開発した。各店で4日から9月末まで限定販売する。企画した市商工会女性部は「お盆の帰省客の手土産として、全国に宍粟の名が広がってほしい」と期待している。

(古根川淳也)

市内9店 夏のスイーツ14種開発

難読地名で知られる「宍粟」を覚えてもらおうと、語呂合わせでシソに着目。同女性部メンバーの畠でシソを栽培するなどし、2014年度から事業に取り組んできた。

スイーツの開発は市内の和洋菓子店に依頼し、各店がクッキーやゼリー、どら焼きなど多彩な商品に仕上げた。

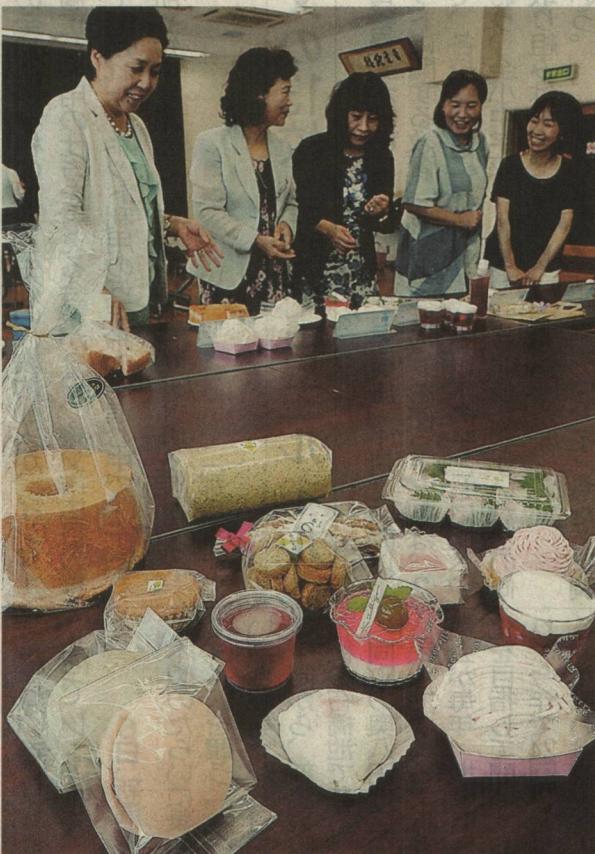
0-62-23365
市商工会 2019

あすから限定販売

宍粟のシソを使ったスイーツを試食する市商工会女性部のメンバーら=宍粟市山崎町山崎

菓子はいずれもシソの香りが生かされ、夏向きのさわやかな味になっている。このほど商工会で開かれた試食会では、女性部員らが「おいしそう」と歎声を上げ、全品の味や見た目などをチェックした。

女性部長の宗澤房子さん(64)と、同部特産



神戸新聞

2016年 8月3日